

## <学界消息>

### ◇ 関西支部の活動

(2000年3月～2001年1月)

#### ○ 関西ワークショップの開催

第80回ワークショップの模様 (とき: 2000/3/25  
ところ: 甲南大学)

中野友博氏 (姫路獨協大学) 「野外教育と環境教育」

第81回ワークショップの模様 (とき: 2000/4/22  
ところ: 大阪南港「ジェットロ輸入住宅部材センター・大阪」)

倉石文彰氏 (ジェットロ輸入住宅部材センター大阪・所長) 「住環境と環境教育」

第82回ワークショップ・第6回支部総会の模様  
(とき: 2000/6/24 ところ: 甲南大学)

福島 古氏 (環境戦略解析機構) 「川とまちづくりから見た環境教育」

第83回ワークショップの模様 (とき: 2000/7/8  
ところ: 生き生き地球館)

西山健一郎氏 (大阪市立環境学習センター) 「大阪市立環境学習センターの取り組み」

第84回ワークショップの模様 (とき: 2000/8/27  
ところ: 甲南大学)

田中敬子氏 (宝塚市立すみれがが丘小学校)、清水三起子 (宝塚市立中山桜台小学校)  
「ここまでできるか? ケナフで生活科」

第85回ワークショップの模様 (とき: 2000/10/14  
ところ: 甲南大学)

森川巧一氏 (神戸市環境局環境政策課環境教育係)  
「神戸市の環境教育のとりくみ-ビオトープを中心に-」

第86回ワークショップの模様 (とき: 2000/11/11  
ところ: 京都精華大学)

宇高史昭氏 (京都市役所地球環境政策課)、本

育生氏 (環境市民チーフ・コーディネーター)  
コメンテーター: 板倉 豊 氏 (京都精華大学)  
「『京都環境教育エコロジーセンター』構想をめぐって」

#### ○ ニュースレターの発行 (『関西ECOMAIL』)

特別号 (1999/11/27) 第53号 (2000/2/28) 第54号 (2000/4/13) 第55号 (2000/6/12) 第56号 (2000/8/9) 第57号 (2000/10/26)

#### ○ 第9回支部研究大会 (とき: 2000/12/9 ところ: 京都精華大学黎明館)

#### 支部大会の内容

◇ 全体テーマ: 「社会的公正と自然環境の持続への主体的かかわり-21世紀にむけた環境教育の課題をめぐって」

◇ 特別講演: 中尾ハジメ氏 (京都精華大学学長)  
「社会の公正と市民活動 -環境ジャーナリズムを通して見えること-」

◇ メイン・シンポジウム: 「社会的公正と自然環境の持続性に向けた環境教育の展開をめざして」  
コーディネータ: 戸田耿介氏 (兵庫県立人と自然の博物館)、原田智代氏 (せいわエコクラブ)  
シンポジスト: 池田直樹氏 (大阪弁護士会)、塩川哲雄氏 (大阪府立北千里高等学校)、柳楽忍 氏 (猪名川の自然と文化を守る会)、山口洋典氏 (大学コンソーシアム京都)

#### ◇ サテライト・シンポジウム

A会場 「持続可能性に向けての教育」代表者: 今村光章

(持続可能性に向けての教育研究会、仁愛女子短期大学)

B会場 「学校ビオトープと教育NPO」代表者: 赤尾整志 (グローバル環境文化研究所)

C会場 「宗教的視点からの自然環境観の考察」代表者: 佐藤孝則 (天理大学)

#### ◇ 自主企画

D会場 「紹介-総合学習教材『地球温暖化』」  
報告者: 藤本雅巳 (大阪国際滝井高等学校、地球環境と大気汚染を考える全国市民会議 (CASA))

E会場 「環境マネジメントを考える - ISO14001キャンパス・ツアー」

代表者：丸谷一耕（木野環境、京都精華大学）

F会場 「展示発表 - 地域と連携した竹炭焼きの取り組み」代表者：塩川哲雄（大阪府立北千里高等学校）

F会場 「展示販売 - 小・中学校向け、環境教育教材『自然と環境のファイル』」

代表者：渡辺 敦（かながわ環境教育研究会）

F会場 「展示販売 - 講座『環境と人間』全12巻シリーズなど」代表者：藤本かおる（昭和堂）

F会場 「展示販売 - 総合学習教材『地球温暖化』」

代表者：早川光俊（地球環境と大気汚染を考える全国市民会議（CASA））

F会場 「展示販売 - 環境社会学科の本」代表者：山田国広（京都精華大学）

#### ◇一般研究発表

A会場

10:00～10:15 伴 季子 「総合的な学習の時間における環境学習 Ver. 2（評価）」

10:15～10:30 岸本清明（東条町立東条東小学校）「東条川を軸とした環境学習（総合学習）の一展開」

10:30～10:45 黒田愛子（吹田市立吹田東小学校（吹田市環境教育研究会））「吹田市幼小中学校でのヤゴ救出作戦」

10:45～11:00 田中百合子、富樫和広 ほか（NTT生活環境研究所、NTT東日本岩手支店）「インターネットを利用した岩手県下小中学校・養護学校による桜前線調査」

11:00～11:15 高島耕一郎（吹田市立山田中学校）「学校と市民で取り組んだタンポポ調査」

11:15～11:30 大澤浩子、佐藤和子（地域の親）「中学3年選択授業における地域市民による環境問題講座の取り組み」

11:30～11:45 井上晴貴（大阪市立阿倍野中学校）、藤岡達也（大阪府教育センター）「環境教育の素材としての『井戸と地下水』について - 大阪市内の中学生実践を例に - 」

11:45～12:00 重藤英一（門真市立第二中学校）

「『エアロゾル（煤塵）』を素材とした環境教育の展開 - 1999年・2中学校合同大気環境調査結果 - 」

B会場

10:00～10:15 西野 敦（吹田自然観察会）「紫金山メダカの田んぼの1年」

10:15～10:30 塩田敏治（紫金山みどりの会）「市民による吹田紫金山都市林の創造」

10:30～10:45 原美智枝（西山田ヒメボタルの会）「吹田ヒメボタル市民調査の3年」

10:45～11:00 横山正和（ビオトープ山の谷）「地域の子どもと大人で作ったビオトープ池」

11:00～11:15 秋山こずえ（すいた市民環境会議）「地区公民館で市民による連続環境講座」

11:15～11:30 増田貴志（兵庫県立淡路景観園芸学校）「里山自然教室の実施と課題」

11:30～11:45 中島洋吉（神戸市シルバーカレッジ社会還元センター）「生涯学習施設学生の地域環境調査 - 冊子『福田川の川辺を歩こう』作成まで - 」

11:45～12:00 田先崇志（兵庫県立香寺高等学校）「学校周辺の環境教材を児童・生徒に生かす」

C会場

10:00～10:15 山野高宏（京都精華大学）「京都精華大学の環境マネジメント・システム」

10:15～10:30 原口博之（甲南大学研究生）「地球的視野を育むための環境教育 - ブラジル国際交流を通じて - 」

10:30～10:45 椋代推親（大阪音楽大学）「感性を養うライフスタイル - 環境教育の基盤をめぐって - 」

10:45～11:00 福島 古（環境戦略解析機構）「環境文化圏と日本の進路」

11:00～11:15 藤岡達也（大阪府教育センター）、木内 功（大阪府立総合青少年野外活動センター）「環境学習プログラムにおける野外学習について - 大阪府立総合青少年野外活動センター近辺の地質、地形を中心に - 」

11:15～11:30 山本勝博（大阪府教育センター）「環境ホルモン（外因性内分泌かく乱化学物質）」

についての一考察」

11:30～11:45 中井精一、山本勝博（大阪府教育センター）「箕面川の水質調査による環境教育教材の開発 - 生物学的水質階級とCODとの関連 - 」

11:45～12:00 奥村 浩（共立理化学研究所）  
「新しい水質簡易測定の特徴と用途」

◇エクスカージョン

12月10日（日） 10:00～15:00 京都市北区深泥池周辺、および中京区新町錦周辺

10:00～12:00 深泥池周辺の自然観察

13:30～15:00 新町錦周辺の町家見学

◇ 福岡県支部の活動

（2000年9月～2001年3月）

○第5回例会の開催（2/24）

～幼・小・中・高における環境教育への取り組み～

手をつなぐ環境教育ネットワーク！

○ニュースレターの発行

「福岡県環境教育学会ニュースレター」

VOL 6（2000. 8）

VOL 7（2000. 11）

VOL 8（2001. 3予定）